

登米市のできごと  
おしらせします！

# TOME TOPICS



▲5～6年生による鳥舞（石越小）



▲全校生徒によるパワフル豊里釜神よさこい（豊里小）



▲5～6年生による合併推進委員会（加賀野小）



▲4～6年生による畑岡神楽（西郷小）

## みんなで元気いっぱいの演技 市内の小学校で運動会

市内各地の小学校で運動会が行われました。児童たちは晴天の中、応援に集まった家族の声援に応えるように、元気いっぱい徒競走や演技などを披露しました。

加賀野小学校では、合併記念種目として「走れ！合併推進委員会」と題し、ダンボールパネルを運び「祝とめ市」を組み立てるユニークな競技も見られました。各学校ごとに地域に伝わる踊りや舞の披露もあり、会場の皆さんを楽しませていました。

## 力強い漕ぎで迫力のレース 河北レガッタ2000

5月20日（金）から22日（日）までの3日間、第14回河北レガッタ2000が、宮城県長沼（なぬま）ボート場を会場に開催されました。

大会には地元の学生チームのほか、全国から強豪チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。

風が無く波がほとんど立たない絶好のコンディションで、佐沼高ボート部の鈴木幸太選手・佐々木悠祐選手が一般大学高校ダブルスカル男子の部で3位に入賞するなど、高校勢が大活躍し大会を盛り上げました。



▲佐沼高ボート部の鈴木選手（左）と佐々木選手（右）

## 市内の景観を守るために 有害チラシ撤去活動



▲有害チラシをはがす参加者

5月29日(日)、有害チラシ撤去大作戦(迫町青年会、長沼花火実行委員会主催)が実施されました。活動には、佐沼警察署、飲食業組合登米支部、東北電力、NTTグループから約30人が参加。長沼付近の県道沿いを2班に分かれ、電柱に張られた風俗営業などの有害チラシをはがしました。

迫町青年会の佐藤充会長は、「チラシ撤去活動は青少年健全育成につながるの、ほかの地域の皆さんにも実施してもらえればうれしい」と今後の活動に抱負を語りました。

## 子宮がん検診県内500万人達成 南方保健センターで記念式典

5月31日(火)、南方保健センターで子宮がん検診500万人達成記念式典(財団法人宮城県がんセンター主催)が開催されました。宮城県内の子宮がん検診は、昭和37年に旧南方村で初めて実施され、今年で43年目となりました。

500万人目の受診者となった伊藤のりさん(南方町裏大岳)は「今年で子宮がん検診を受けて26年になりますが、おかげで毎年安心して生活してこれました。今後も安心して暮らせるように、検診を受けていきたいです」と感想を話してくれました。



▲表彰状を授与される伊藤さん



▲迫川河川敷のゴミ拾いをする参加者

## ゴミ拾いでコミュニケーション 鹿ヶ城公園と迫川河川敷の清掃活動

5月29日(日)、第1回ゴミコミュニケーション(コア・パブリッシング主催)が鹿ヶ城公園(迫町佐沼)で開催され、市民64人が参加しました。

ゴミ拾いをきっかけに、見知らぬ人同士が、コミュニケーションを深めることが目的の活動です。参加した皆さんは、鹿ヶ城公園と佐沼大橋までの河川敷を、会話を交わしながら楽しくゴミ拾いをし、互いに交流を深めていました。

今後も市内各地で定期的に活動を行う予定です。  
【問い合わせ】コア・パブリッシング

☎0220 (23) 2772